

水道モニター研修レポート

目的	水道水の水質検査機関を視察し、水道水の安全性について認識を深める。
①水質検査について	水道法に基づく51項目について、原水と浄水を毎日検査しており、普段何気なく蛇口をひねり、水を利用しているが、安全・安心について、どのように守られているのか理解できた。
	毎日1回以上、色、濁り、消毒の検査がされており、その他にも法定検査を51項目もの検査を実施していることを知り、安心、安全を実感しました。
	水がないと毎日生活するには大変大事なものの、いろいろな検査（放射線、臭気とか）のおかげで安心、安全な水が各家庭、工場などに使われている。水質検査は大事な仕事ですね。
	蛇口をひねれば毎日清潔な水が出て、それを当たり前のように飲用していましたが、その水道水を供給するために浄水場での浄水処理後、毎日検査、毎月検査、年4回の検査、そして年1回の詳細な検査が行われており、おいしく安全な水道水を供給するために厳重な水質検査が行われていることを知りました。
	毎日の検査で色、濁り、におい、消毒効果など、また、年1回の51項目検査がおこなわれていることや、項目によっては、毎月、年数回の農薬検査や工場排水にもすぐに対応できることはすごいなと感じました。 水槽のメダカはびっくりしました。異変に気づきやすいので危機管理がきちんとされているのだと感じました。
	私たちの住む阿賀野市の水質検査は、今回見学した東港企業団で受託検査され、安田地区は民間で検査されていることがわかりました。 水質検査は、毎日（色、濁り、消毒効果）、毎月（原水1検体、浄水8検体）水質基準全項目は51項目もなる検査があり、そのた放射線検査も毎月行っていることで、これら外部委託のおかげで私たちは清浄にして安全な水を供給されていると感じました。
②水質検査精度管理について	水道 GLP 認証を新潟県内で新潟市、柏崎市に次いで3番目に取得しており、積極的に検査精度管理に取り組まれているため、阿賀野市の水質検査を安心して委託できることを認識しました。
	常に水質検査の精度に誤差がないように厳しく管理されていて、本当に水道水が安全だということがよくわかりました。
	厚労省からの実施義務もあり、水道 GLP の規定など、細かい品質管理が徹底して行われていることに驚きました。
	精度管理という大変厳しい検査があることを知りました。評価が大変高いと聞き、仕事の大変さを知りました。
	何億円もの検査機器を使って、管理されたトップレベルの水を蛇口ひとつで毎日飲む新潟は幸せだなと思いました。
	水質検査を実施し、その検査の信頼性や制度が十分であるかの判断をする水道教会の厳しい審査基準を満たして水道 GLP の認定を受けていることを知り、精度の高い水質検査が行われていることが分かり、安心、安全な水道水が供給されているのだと認識しました。

	<p>内部精度管理と外部精度管理があつて、未知試料に近付ける、難しそうがよくわかりませんでした。全国でも素晴らしい結果を残していることが分かりました。</p>
	<p>東港企業団は、厚生労働省が実施する外部精度管理に参加している。(水道事業体約 170 団体が参加している) 評価で第 1 群に名前が載っている優良団体であることが分かりました。</p>
<p>③施設見学について</p>	<p>監視制御設備、検査機器、着水井、沈澱池、ろ過池、電気設備、送水ポンプを見学して、実際の浄水処理フローを理解できた。 屋外にあったパッケージ型のディーゼル発電機が見たことのない大きさで印象に残りました。</p>
<p>水質検査をするための高額な検査機器やあそれだけの浄水施設を維持管理するのは大変だなあと感じました。これからも安心して水道水を利用するためにも、料金改定も必要かなと感じました。</p>	
<p>施設内の沈澱池やろ過池、水質試験室などを見学し、中央監視室では 24 時間体制で管理され、異常に迅速に対応してくれることを知りました。</p>	
<p>施設が広く立派で検査機器もたくさんあつて実験室みたいでした。 大室浄水場の見学と比較して規模は違うかもしれませんが大変勉強になりました。</p>	
<p>実家が宮城で東日本大震災以来、飲み水は安全な水を買ってきて、冷蔵庫にストックしておかなければなりません。テレビでは水道のない国が濁ったような水を飲んでいて、よくおなかを壊さないなあと感じています。 河川水を安心、安全でおいしい水に浄水処理して頂き、水道事業体の皆様ありがとうございます。</p>	
<p>施設を見学させていただき、私たちの毎日の生活必需品である水道水がどのように安心、安全、清潔、そしておいしい水へと作られる過程を詳しく知ることができました。</p>	
<p>毎日使用している水道水がたくさん過程を経て、河川水が安心、安全な水道水になるまでがよくわかりました。</p>	
<p>今回の施設を見学して、浄水処理の仕組みは大室浄水場と同じ仕組みであると感じました。同じ阿賀野川の取水口から河川水を取水して浄水し、一般家庭へ供給する阿賀野市の水道事業とはまた違う事業があることを知りました。</p>	
<p>東京から帰郷した娘が阿賀野市の水はおいしいといいます。これからも安心して安全な水道水が飲料できるように健全な経営や水質検査をお願いします。</p>	